

今回も学校の施設についてお話しします。



今となっては懐かしい、旧校舎です。この校舎が完成したのは昭和 38（1963）年です。

昭和 30 年代後半は、戦後のベビーブームに生まれた子供が高等学校へ進学する時期にあたり、全国的に 1 学級 50～60 人でもなお教室が足りない、という状況になりました。昭和 22 年から 24 年生まれの方々に、いわゆる「団塊の世代」と呼ばれる年齢層です。

本校は、戦後の学制改革により、昭和 23（1948）年に成田中学校と成田高等女学校を統合して、成田高等学校としてスタートしました。その時に、旧中は男子部、高女は女子部となりました。その後の高校生人口の急増により、本校でも昭和 38 年度から 3 か年にわたって、2 学級ずつ増やす方針を立てたため、この機会に鉄筋コンクリート 4 階建ての新校舎を建てることにしました。

この写真は新校舎が完成して間もないころ、昭和 39（1964）年の東京オリンピック開催を記念して撮影された写真です。



この写真の右下の建物は柔剣道場です。明治 42（1909）年に建てられたものでした。今の駐輪場にあたります。真中には体育館兼講堂、その左手にはテニスコートがありました。ここには昭和 56（1981）年に、前の武道場が建てられます。まだ、プールはありません。プールが完成するのは昭和 40（1965）年です。新校舎の右手には昭和 2（1927）年に建てられた、鉄筋コンクリート 2 階建ての理科校舎、その北側に昭和 39 年に完成したばかりの男子体育館兼武道場があります。

この写真を見ると、南門より東側がまだ学校の敷地でなかったことがわかります。ここが敷地に加わったのは昭和 42（1967）年で、翌年に女子部校舎が建てられました。今の附属小学校の地にあった女子部校舎が老朽化していたためでした。この写真はその整地工事の様子の写真です。



これにともなって、道路の付け替え工事が行われました。これが、現在の本校南門から知心寮へ抜ける道路で「成高道路」と命名されました。女子部の移転後、旧校舎は北総開発局の仮局舎として利用されていましたが、局舎が成田ニュータウンへ移されたのを機に、昭和 48（1973）年に附属小学校を設立しました。

この写真は、今の野球グラウンドを整備している様子写真です。



作業をしているのは、なんと、本校の生徒です。実は、グラウンド造成の費用を少しでも抑えるため、昭和 34（1959）年の 11 月から成田市の協力で、自衛隊による整地工事が行われました。ところが、自衛隊の作業には期限があります。そこで、翌年の春に、成田市所有のブルドーザーを借りて、職員・生徒によってグラウンド整備が行われ、11 月に完成したのです。今では考えられないような風景ですが、こうした先輩方の労力で、このグラウンドは完成したのです。完成当時のテニスコートやバレーコート、100mの直走路もあり、総合的な運動場でした。

こうして、今の学校敷地の基本的な形ができあがったのです。
今回はここまでとします。

（深田富佐夫）